

令和7年度 都内医療保険者のデータヘルス計画推進に向けたデータ分析 概要

目的

都内保険者が自保険者の状況を客観的に把握し、保健事業の質向上につなげられるようにする。

分析の方向性 ※分析の方向性は令和6年度と変更なし

○医療費等データ

第四期東京都医療費適正化計画で経年変化を把握することとしている医療費が高い疾病の状況、効果が乏しいというエビデンスが指摘されている医療、医療資源の投入量に地域差があるとされている医療等について、全国及び東京都の実績を把握・分析する。

○特定健診等データ

特定健診及び後期高齢者の健康診査の結果のうち、被保険者の生活習慣病の発症に影響を与えるものとして検査項目及び質問票の回答状況を一部選定し、全国及び東京都の実績を把握するとともに、都内の保険者種別ごとの傾向がわかるよう、協会けんぽ、国保、後期高齢のデータを把握・分析する。

○保険者データ

保険者協議会委員の保険者が有する特定健診データ等を用いて、被保険者の健康状態と生活習慣との関連等を可視化する。

分析結果（令和5年度データを使用） ※令和6年度に使用した令和3年度・4年度データに5年度データを追記

①医療費等データ

別添「①医療費等データ」のとおり

②特定健診等データ

別添「②特定健診等データ」のとおり

上記を、有識者（東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司氏）による講評とあわせて保険者協議会HPで公表